



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	101,414	△11.4	8,522	△11.7	8,671	△9.6	5,767	△7.0
28年3月期第3四半期	114,453	△10.7	9,654	56.8	9,595	41.0	6,198	29.3

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 5,523百万円 (20.8%) 28年3月期第3四半期 4,571百万円 (△23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	35.78	—
28年3月期第3四半期	38.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	176,222	116,878	65.9
28年3月期	179,898	113,140	62.4

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 116,149百万円 28年3月期 112,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△6.1	12,000	△1.5	11,500	△0.3	7,600	2.5	47.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	167,124,036 株	28年3月期	167,124,036 株
29年3月期3Q	5,945,991 株	28年3月期	5,922,766 株
29年3月期3Q	161,193,801 株	28年3月期3Q	161,234,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをご含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景として、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、景気の先行きにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱問題や米国の新政権への移行などによる、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動などから不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、主要需要業界である自動車業界向けが引き続き堅調に推移したことなどにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を上回る水準となりました。

このような中、当社グループの当第3四半期の売上高は、販売数量は増加したものの、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下、販売構成の変化などにより、前年同期比130億38百万円減の1,014億14百万円となりました。利益面では、販売数量の増加、原燃料価格の低下、コストダウンの実施等の好転要素もありましたが、鉄スクラップサーチャージ制度適用による販売価格の変化までのタイムラグ、円高によるドル建て売上に係る円手取り額の減少等の影響、株安による退職給付費用の増加、連結子会社の利益減などにより、経常利益は前年同期比9億23百万円減の86億71百万円、ROS（売上高経常利益率）は8.6%（前年同期は8.4%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億31百万円減の57億67百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第3四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下や販売構成の変化などにより、前年同期比107億46百万円減の917億69百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージのタイムラグ、円高による影響、販売構成の変化、固定費の増加などはありませんでしたが、原燃料価格の低下、コストダウンの実施などにより、前年同期比7億46百万円増の76億15百万円となりました。

特殊材事業

当第3四半期は、電子部品分野の需要低迷やプラント需要の低迷などによる販売数量の減少、円高による影響などにより、売上高は前年同期比15億10百万円減の42億4百万円、営業利益は前年同期比6億5百万円減の5億78百万円となりました。

素形材事業

当第3四半期の売上高は、販売数量は増加したものの、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比14億49百万円減の108億61百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージのタイムラグ、円高による影響、中国子会社の賃金アップによる人件費の増加に加え、タイ・メキシコ子会社における立上げ費用等の一過性コストの増加などにより、前年同期比6億87百万円減の3億69百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第3四半期の売上高は前年同期比78百万円増の11億67百万円、営業利益は前年同期比8百万円増の31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産残高は、決算日が銀行休日であった影響により、受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金が減少したことなどにより、前期末比36億76百万円減の1,762億22百万円となりました。

負債残高は、借入金の減少などにより、前期末比74億14百万円減の593億43百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加などにより、前期末比37億38百万円増の1,168億78百万円となりました。

この結果、当第3四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.14（前期末は0.13）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、わが国の景気が緩やかな回復を続けていくことが期待される一方で、新興国経済の減速や海外経済の不確実性の高まり、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定的かつグローバルに供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

なお、業績予想および配当予想につきましては、当第3四半期の実績および現時点での想定を踏まえ、平成28年10月27日の第2四半期決算発表時に開示した予想を据え置くことといたしました。

(注)業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,179	13,116
受取手形及び売掛金	40,531	44,213
電子記録債権	3,196	4,133
商品及び製品	8,590	8,175
仕掛品	17,532	16,004
原材料及び貯蔵品	11,506	12,755
その他	2,608	2,653
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	106,134	101,043
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	36,151	34,680
その他（純額）	24,034	25,238
有形固定資産合計	60,186	59,918
無形固定資産	1,178	1,327
投資その他の資産	12,399	13,932
固定資産合計	73,764	75,178
資産合計	179,898	176,222
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,712	12,750
短期借入金	28,708	21,724
未払法人税等	2,205	855
賞与引当金	2,118	1,151
役員賞与引当金	114	88
その他	12,500	13,145
流動負債合計	57,359	49,716
固定負債		
長期借入金	7,789	7,789
役員退職慰労引当金	52	56
債務保証損失引当金	—	2
退職給付に係る負債	591	633
その他	965	1,145
固定負債合計	9,398	9,627
負債合計	66,758	59,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,597	22,597
利益剰余金	69,491	73,485
自己株式	△1,841	△1,853
株主資本合計	110,430	114,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,677	3,196
繰延ヘッジ損益	2	△9
為替換算調整勘定	1,491	△463
退職給付に係る調整累計額	△1,294	△985
その他の包括利益累計額合計	1,877	1,737
非支配株主持分	832	729
純資産合計	113,140	116,878
負債純資産合計	179,898	176,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	114,453	101,414
売上原価	95,027	82,582
売上総利益	19,425	18,831
販売費及び一般管理費	9,771	10,309
営業利益	9,654	8,522
営業外収益		
受取利息	38	28
受取配当金	192	178
その他	481	348
営業外収益合計	712	555
営業外費用		
支払利息	284	184
持分法による投資損失	295	144
その他	191	76
営業外費用合計	771	406
経常利益	9,595	8,671
特別利益		
土地売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除売却損	232	215
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	240	215
税金等調整前四半期純利益	9,355	8,459
法人税、住民税及び事業税	2,557	2,442
法人税等調整額	574	242
法人税等合計	3,132	2,685
四半期純利益	6,222	5,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,198	5,767

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	6,222	5,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,168	1,518
繰延ヘッジ損益	—	△12
為替換算調整勘定	△289	△1,660
退職給付に係る調整額	△98	308
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	△404
その他の包括利益合計	△1,651	△250
四半期包括利益	4,571	5,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,571	5,626
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	96,338	5,715	12,310	114,364	88	114,453	—	114,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,177	—	—	6,177	1,000	7,178	△7,178	—
計	102,516	5,715	12,310	120,542	1,089	121,631	△7,178	114,453
セグメント利益	6,868	1,184	1,057	9,110	22	9,132	521	9,654

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額521百万円は、棚卸資産の調整額486百万円およびセグメント間取引消去35百万円であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,289	4,204	10,861	101,356	58	101,414	—	101,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,479	—	—	5,479	1,108	6,588	△6,588	—
計	91,769	4,204	10,861	106,835	1,167	108,002	△6,588	101,414
セグメント利益	7,615	578	369	8,563	31	8,594	△72	8,522

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△72百万円は、棚卸資産の調整額△77百万円およびセグメント間取引消去5百万円であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

平成29年3月期 第3四半期決算発表

1. 当第3四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上数量	750	740	9	1.2	1,002	988	14	1.4
売上高	101,414	114,453	△13,038	△11.4	140,000	149,148	△9,148	△6.1
営業利益	8,522	9,654	△1,132	△11.7	12,000	12,188	△188	△1.5
経常利益	8,671	9,595	△923	△9.6	11,500	11,540	△40	△0.3
(ROS)	(8.6)	(8.4)	(0.2)		(8.2)	(7.7)	(0.5)	
親会社株主に帰属する当期純利益	5,767	6,198	△431	△7.0	7,600	7,416	183	2.5
設備投資	7,227	6,152	1,074	17.5	10,000	9,908	91	0.9
減価償却費	6,705	6,890	△185	△2.7	9,000	9,343	△343	△3.7

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	平成28年3月期					平成29年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上数量	260	238	242	248	988	249	244	257
売上高	40,840	38,016	35,595	34,695	149,148	33,920	32,814	34,679
営業利益	3,297	2,904	3,452	2,533	12,188	2,500	2,708	3,313
経常利益	3,435	2,757	3,401	1,945	11,540	2,113	2,644	3,913
(ROS)	(8.4)	(7.3)	(9.6)	(5.6)	(7.7)	(6.2)	(8.1)	(11.3)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,273	1,667	2,258	1,217	7,416	1,619	1,526	2,621

2. 当第3四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	85	1. 販売価格・構成	95
2. 変動費のコストダウン	18	2. 為替変動 (営業損益)	10
3. 販売数量	3	3. 固定費の増加	10
4. 営業外損益	2	4. 連結子会社の利益減	6
5. その他	4		
計 (A)	112	計 (B)	121
		差引 (A) - (B)	△9